

10:58 受

1/3

様式0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第18205報)

平成30年6月6日10時40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦  
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第12993報他でお知らせした、地下貯水槽周辺の観測孔において全ベータ放射能が上昇した事象、及び第13274報他でお知らせした、地下貯水槽i南西側及び北東側の漏えい検知孔水において全ベータ放射能が上昇した事象について、下記のとおり水の分析を実施しましたので、お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地下貯水槽観測孔 分析結果 [採取日 6月5日]</li> <li>地下水バイパス(調査孔)、海側観測孔 分析結果 [採取日 6月4日]</li> </ul> <p>今回の分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。</p> <p>引き続き、地下貯水槽周辺の監視を行うとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していきます。</p> <p>【公表区分：D続】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2018年6月6日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽観測孔 分析結果(2018年6月5日分)

地下貯水槽観測孔(i~iii)												
	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A10	A11	A12
採取時刻	8:12				8:06				8:00			
全ベータ(Bq/L)	ND(24)				ND(24)				ND(24)			

地下貯水槽観測孔(i~iii)							地下貯水槽観測孔(vi)			
	A13	A14	A15	A16	A17	A18	A19	B1	B2	B3
採取時刻	7:53				7:48					
全ベータ(Bq/L)	ND(24)				ND(24)					

(注)NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

2/3

2018年6月6日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

地下水バイパス(調査孔)、海側観測孔 分析結果(2018年6月4日分)

	地下水バイパス 調査孔			海側観測孔							
	a	b	c	①	②	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
採取時刻	/	8:13	7:55	8:34	/	/	8:48	/	9:03	/	
全ベータ(Bq/L)	/	ND(22)	ND(22)	ND(22)	/	/	ND(22)	/	ND(22)	/	
トリチウム(Bq/L)	/	54	23	56	/	/	29	/	65	/	

半減期 トリチウム:約12年

\* トリチウム以外のデータは6月5日にお知らせ済み。

(注)NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

3/3

10:58 受

様式0-1(1/2)

## 応急措置の概要 (原子炉施設)

(第18206報)

平成30年6月6日10時40分	
内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿	
第25条報告	報告者名 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 原子力防災管理者 磯貝 智彦
	連絡先 0240-30-9301
原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。	
原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要)  第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路上流側立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。  ・福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果 [採取日 6月4日]  今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。  【公表区分：その他】
	※添付の有・無
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2/3

2018年6月6日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果

単位: Bq/L

	1号機放水路立坑水		2号機放水路立坑水	
	上流側	下流側	上流側	下流側
採取日	6月4日	6月4日	6月4日	6月4日
採取時刻	9:53	9:33	9:44	9:37
Cs-134(約2年)	33	96	130	ND(5.4)
Cs-137(約30年)	370	870	1,400	67
全β	550	2,600	1,900	170
H-3(約12年)	120	350	ND(120)	170

\* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

15:44 受

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第18207報)

平成30年6月6日15時15分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦  
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)                  プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント関連パラメータ [6月6日11時00分現在]</li> <li>・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 6月5日]</li> <li>・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 6月5日]</li> <li>・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 6月1日]</li> <li>・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 6月5日]</li> <li>・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 6月5日]</li> <li>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</li> <li>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</li> <li>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</li> </ul> <p>地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、6月7日に排水を実施します。                  排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島第一原子力発電所 地下水バイパス 一時貯留タンク分析結果 [採取日 5月31日]</li> </ul> <p>【公表区分：その他】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、並大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/8

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2018年6月6日 11:00 現在

【重要事項】  
 各材料測定については、装置やその側の設置位置の取得を怠り、通常の使用位置  
 各材料測定について、正しく実施されていない可成りの異常材料測定結果  
 発生している。プラントの状態を把握するに際し、このような異常の発生が  
 原因とならず、装置の計測値から得られる情報を活用して変化の傾向にも留意し  
 て報告に努めている。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉送水状況	給水系：1.4m <sup>3</sup> /h CS系：1.4m <sup>3</sup> /h (6/6 11:00 現在)	給水系：1.4m <sup>3</sup> /h CS系：1.4m <sup>3</sup> /h (6/6 11:00 現在)	給水系：0.0m <sup>3</sup> /h CS系：3.0m <sup>3</sup> /h (6/6 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 内部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1) : 21.2°C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1) : 21.1°C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2) : 21.1°C (6/6 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3) : 27.0°C RPV温度 (TE-2-3-69R) : 28.5°C (6/6 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1) : 25.0°C RPV座部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1) : 24.0°C (6/6 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A) : 21.4°C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F) : 21.1°C (6/6 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B) : 27.4°C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1) : 27.4°C (6/6 11:00 現在)	格納容器乾燥機室内空気温度 (TE-16-114A) : 24.8°C 格納容器乾燥機供給空気温度 (TE-16-114F#1) : 23.4°C (6/6 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	1.20kPa.g (6/6 11:00 現在)	4.71kPa.g (6/6 11:00 現在)	0.31kPa.g (6/6 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH) : 13.60Nm <sup>3</sup> /h (JP-A) : 14.05Nm <sup>3</sup> /h (JP-B) : -Nm <sup>3</sup> /h PCV : -Nm <sup>3</sup> /h (6/6 11:00 現在)	RPV : 11.24Nm <sup>3</sup> /h PCV : -Nm <sup>3</sup> /h (6/6 11:00 現在)	RPV : 16.36Nm <sup>3</sup> /h PCV : -Nm <sup>3</sup> /h (6/6 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	21.2m <sup>3</sup> /h (6/6 11:00 現在)	15.28Nm <sup>3</sup> /h (6/6 11:00 現在)	17.72Nm <sup>3</sup> /h (6/6 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 水素濃度 ※1	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (6/6 11:00 現在)	A系：0.05vol% B系：0.04vol% (6/6 11:00 現在)	A系：0.01vol% B系：0.02vol% (6/6 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 Xe135) ※2	A系：指示値 1.05E-03 検出限界値 4.30E-04 B系：指示値 1.28E-03 検出限界値 3.70E-04 (6/6 11:00 現在)	A系：指示値 ND 検出限界値 1.6E-01 B系：指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 (6/6 11:00 現在)	A系：指示値 ND 検出限界値 2.4E-01 B系：指示値 ND 検出限界値 2.5E-01 (6/6 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	28.6°C (6/6 11:00 現在)	29.3°C (6/6 11:00 現在)	28.2°C (6/6 11:00 現在)	20.0°C (5/13 5:00 現在) ※5
FPC 7号機 水位	3.51m (6/6 11:00 現在)	4.22m (6/6 11:00 現在)	4.07m (6/6 11:00 現在)	67.03X100mm (6/6 11:00 現在)

【詳細値に関する情報】  
 ※1：指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)  
 原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度を記載する。  
 ※2：指示値が検出限界未満の場合はNDと記載する。原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度を0e13B) を記載する。  
 ※3：使用済燃料プールの温度・圧力が異常補正した値を記載する。  
 ※4：異常値の発生  
 ※5：作業により4号機使用済燃料プール冷却系一次系ポンプ停止中のため、4号機使用済燃料プール水温度に關しては至近のデータを記載。

2018年6月6日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水検体分析結果

I-131 (Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 5/20 to 6/5. Rows 1-9 show data for I-131, mostly with ND (Not Detected) values.

CS-134 (Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 5/20 to 6/5. Rows 1-9 show data for CS-134, mostly with ND values.

CS-137 (Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 5/20 to 6/5. Rows 1-9 show data for CS-137, including numerical values like 6.3, 44, 39, 40, 44, 33, 34, 41, 47, 44, 41, 47, 44, 41.

※「-」はサンプリング測定を実施していないことを示す。
※①は②が検出不可となったため、地下水流の上流側として測定し、選1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※②は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/28~)
※③を追加で測定(2011/5/30~)
※④を追加で測定(2011/6/2~)
※NDは検出限界値未満を示し、( ) 内に検出限界値を示す。

- <測定箇所>
①4号7月建設箇所
②アロセス主建屋北東
③アロセス主建屋南東
④アロセス主建屋南西
⑤雑居体跡築物南西
⑥サイロタンク建設箇所
⑦燃料工務建屋 西側
⑧雑居体跡築物南西
⑨サイロタンク建設南東

3/8



2018年6月6日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所推進カンパニー

# 福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

	A排水路					物揚場排水路				
	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日
採取日	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日
採取時刻	8:00	7:55	8:15	8:10	8:05	8:05	8:00	8:20	8:15	8:10
降雨量 (mm/日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流量 (m <sup>3</sup> /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134 (約2年)	ND(0.61)	0.84	0.90	ND(0.60)	0.79	ND(0.99)	ND(0.64)	ND(0.54)	ND(0.58)	ND(1.1)
Cs-137 (約30年)	7.6	8.8	6.9	7.1	6.8	4.0	4.2	4.0	2.6	4.0
全β	13	14	15	13	17	6.2	6.0	5.7	4.2	7.0
H-3 (約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

単位: Bq/L

	K排水路					C排水路				
	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日
採取日	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日
採取時刻	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00
降雨量 (mm/日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流量 (m <sup>3</sup> /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134 (約2年)	1.2	0.96	0.84	ND(0.84)	0.71	ND(0.61)	ND(0.61)	ND(0.70)	ND(0.43)	ND(0.59)
Cs-137 (約30年)	15	8.0	9.1	8.7	9.1	ND(0.84)	0.72	ND(0.83)	ND(0.77)	ND(0.93)
全β	22	14	10	15	14	3.5	ND(3.3)	ND(3.7)	ND(3.0)	ND(3.1)
H-3 (約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\* 太枠内が今回公表データ。他は6月5日までにお知らせ済み。

\* 測定対象外の項目は「-」と記す。

\* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

4/8

2018年6月6日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

# 福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(1/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	No.0-17																
	No.0-1	No.0-1-2	No.0-2	No.0-3-1	No.0-3-2	No.0-4	No.1	No.1-6	No.1-8	No.1-9(甲)	No.1-11	No.1-12	No.1-14	No.1-16	No.1-17		
採取時刻	6月1日	6月1日	6月1日	6月1日	6月1日	6月1日	6月1日	6月1日	6月1日	6月1日	6月1日	6月1日	6月1日	6月1日	6月1日		
塩素(単位: ppm)	7:48	7:45	7:45	7:45	7:45	7:45	7:48	7:45	7:45	7:45	7:30	8:10	7:53	7:27	8:14		
Cs-134(約2年)	ND(0.33)	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	ND(0.33)	1,400	1,400	1,400	ND(0.30)	10	ND(0.49)	ND(1.0)	ND(0.38)		
Cs-137(約30年)	ND(0.55)	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	ND(0.55)	13,000	13,000	13,000	ND(0.42)	98	ND(0.55)	0.86	ND(0.44)		
その他	ND	21	21	21	21	21	ND	21	21	21	ND	ND	ND	ND	ND		
全β	29,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	29,000	110,000	110,000	110,000	17	360	25,000	38,000	37,000		
H-3(約12年)	47,000	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	47,000	5,800	5,800	5,800	980	34,000	3,800	1,700	20,000		
SI-90(約29年)	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中		

採取日	No.2-17																
	No.2	No.2-2	No.2-3	No.2-5(甲)	No.2-6	No.2-7	No.2-8	No.3	No.3-2	No.3-3	No.3-4	No.3-5(甲)	No.3-5(乙)	No.3-5(丙)	No.3-5(丁)	No.3-5(戊)	
採取時刻																	
塩素(単位: ppm)																	
Cs-134(約2年)																	
Cs-137(約30年)																	
その他																	
全β																	
H-3(約12年)																	
SI-90(約29年)																	

\* 本表内が今回公表データ。他は6月2日にお知らせ済み。  
 \* NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き( )内に検出限界値を示す。  
 \* 測定対象外の項目は「-」に記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。  
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてろ過後に測定。

5/8

# 福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(2/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(甲)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻							6月5日 8:07	6月5日 7:36	6月5日 7:32	6月5日 7:49	6月5日 8:26	6月5日 7:44	6月5日 7:19	6月5日 8:06
塩素(単位: ppm)														
Cs-134(約2年)							ND(0.45)	1,500	110	ND(0.34)	11	ND(0.54)	ND(0.39)	ND(0.44)
Cs-137(約30年)							ND(0.51)	14,000	1,100	0.66	100	ND(0.46)	1.4	ND(0.56)
その他							ND	21	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全β							30,000	130,000	8,100	40	420	25,000	42,000	43,000
H-3(約12年)							分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中
SI-90(約29年)							分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中

採取日	1,2号機 ウェルポイント 汲み上げ水 6月5日	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(甲)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(甲)	3号機 汲み上げ水 汲み上げ水
採取時刻	8:16													
塩素(単位: ppm)														
Cs-134(約2年)	1.3													
Cs-137(約30年)	14													
その他	ND													
全β	200,000													
H-3(約12年)	分析中													
SI-90(約29年)														

\* NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き( )内に検出限界値を示す。  
 \* 測定対象外の項目は「1」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。  
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、探水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としての過後に測定。

6/8

7/8

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(3/3)海水

単位: Bq/L

	福島第一 5号機 放水口北側 (T-1)	福島第一 6号機 取水口前	福島第一 物揚場前	福島第一 1~4号機 取水口内北側 (東防波堤北側)	福島第一 1号機 取水口 (遮水壁前)	福島第一 2号機 取水口 (遮水壁前)	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (遮水壁前)	福島第一 南放水口 付近 (T-2)	福島第一 港湾口	福島第一 港湾内 東側	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日		6月5日	6月5日	6月5日	6月5日	6月5日	6月5日	6月5日	6月5日	6月5日		
採取時刻		7:48	7:37	7:14	7:24	7:20			6:41	6:39		
Cs-134 (約12年)		ND(0.51)	ND(0.37)	ND(0.52)	ND(0.62)	ND(0.60)			ND(0.46)	ND(0.30)	60	10
Cs-137 (約30年)		0.92	1.4	3.9	3.3	2.6			0.46	ND(0.31)	90	10
全β		ND(17)	ND(17)	ND(17)	ND(17)	ND(17)			18	ND(16)		
H-3 (約12年)		—	—	—	—	—			—	—	60,000	10,000
Sr-90 (約29年)		—	—	—	—	—			—	—	30	10

単位: Bq/L

	福島第一 港湾内 西側	福島第一 港湾内 北側	福島第一 港湾内 南側	福島第一 港湾中央	福島第一 北防波堤 北側 (T-0-1)	福島第一 港湾口 北東側 (T-0-1A)	福島第一 港湾口 東側 (T-0-2)	福島第一 港湾口 南東側 (T-0-3A)	福島第一 南防波堤 南側 (T-0-3)	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	6月5日	6月5日	6月5日	6月5日	6月5日	6月5日	6月5日	6月5日	6月5日		
採取時刻	6:37	6:35	6:43	7:10							
Cs-134 (約12年)	ND(0.21)	ND(0.28)	ND(0.31)	ND(0.52)						60	10
Cs-137 (約30年)	0.46	ND(0.36)	0.31	0.99						90	10
全β	ND(16)	20	ND(16)	17							
H-3 (約12年)	—	—	—	—						60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—						30	10

\* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

\* 測定対象外の項目は「—」と記す。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度 (別表第2第六欄・周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

2018年6月6日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

# 福島第一原子力発電所 地下水バイパス 一時貯留タンク分析結果

単位: Bq/L

	Gr3(グループ3)		運用目録	※1 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関			
採取日	2018年5月31日	2018年5月31日			
採取時刻	8:21	8:21			
貯水量 [m <sup>3</sup> ]	2,270	2,270			
セシウム134	ND(0.59)	ND(0.45)	1	60	10
セシウム137	ND(0.58)	ND(0.46)	1	90	10
その他ガンマ核種	検出なし	検出なし	※2 検出されないこと		
全ベータ	ND(0.77)	ND(0.59)	5(1) <sup>(注)</sup>		
トリチウム	120	120	1,500	60,000	10,000

\* 第三者機関: 日本分析センター

\* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

(注) 運用目録の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
(別表第2第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134,セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

09/09

15:44 受

様式 9-1 (1/2)  
(第18208報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

平成30年 6月 6日 15時15分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口) (対応日時, 対応の概要)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>第18202報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクGに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水開始 : 9時46分</li> <li>・排水終了 : 13時53分</li> <li>・排水量 : 613m<sup>3</sup></li> </ul> <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

16:42 受

1/1

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第18209報)

平成30年 6月 6日 16時28分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第2.5条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>本日、14時15分に協力企業より、午前中に発電所構内で作業していた協力企業の作業員が作業終了後に大熊町内の事務所へ戻り、その後倒れ意識不明の状態であると連絡が入りました。 当該作業員は緊急搬送され、その後、死亡が確認されました。 なお、午前中の作業との因果関係は不明です。</p> <p>【公表区分：D】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有：(無)

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

17:08 後

様式0-1(1/2)  
(第18210報)

応急措置の概要(原子炉施設)

平成30年 6月 6日 16時53分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第18074報他でお知らせした, 3号機原子炉注水設備の給水系ライン改造工事終了に伴い, 本日14時45分, 原子炉注水を給水系および炉心スプレイ系(以下, 「CS系」という)による注水に変更(戻し)しました。  <3号機原子炉注水量変更(戻し)>  給水系原子炉注水量: 0m <sup>3</sup> /h→1.5m <sup>3</sup> /h CS系原子炉注水量: 3.0m <sup>3</sup> /h→1.5m <sup>3</sup> /h  なお, CS系による単独注水期間中, 原子炉の冷却状態に異常はありませんでした。  【公表区分: E】  ※添付の有・無
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは, 日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。



訂正 Rev1  
 14時 → 15時  
 <誤> <正>

18:11受

Rev1 発信日時  
 平成30年6月6日17時55分

様式0-1 (1/2)  
 (第18210報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

平成30年 6月 6日 16時53分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦  
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第18074報他でお知らせした、3号機原子炉注水設備の給水系ライン改造工事終了に伴い、本日<sup>15</sup>14時45分、原子炉注水を給水系および炉心スプレイ系(以下、「CS系」という)による注水に変更(戻し)しました。</p> <p>&lt;3号機原子炉注水量変更(戻し)&gt;</p> <p>給水系原子炉注水量: 0 m<sup>3</sup>/h → 1.5 m<sup>3</sup>/h                  CS系原子炉注水量: 3.0 m<sup>3</sup>/h → 1.5 m<sup>3</sup>/h</p> <p>なお、CS系による単独注水期間中、原子炉の冷却状態に異常はありませんでした。</p> <p>【公表区分: E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。